

「どうすればよかったんだろう…」と
悩んでいることを、一緒に考えよう

悩める患者対応、 相談のります

第2回 患者さんの家族 編

患者さんの社会背景の複雑化や個別化などが指摘されるいま、患者さんの最も近くで働く看護師が
“対応に困る場面”も多いかと思います。

そこで、「こういうときはどうすればよいのかな」「あのとき、できたことはあったのかな」といった
“患者対応に悩んだ”場面を読者の皆さんから募集し、エキスパートに答えていただきます。

今回は、患者さんの家族にスポットを当てて考えます。「ナースとしてどのように付き合っていくか」から、
患者さんと家族の意向が食い違ったときなど、事例を含め解説します。



【執筆】

藤井真樹

ふじい・まき

学校法人聖マリアンナ医科大学
川崎市立多摩病院 医療相談センター師長、
家族支援専門看護師

東京大学医学部附属病院、東京大学医科学研究
所附属病院で勤務後、東海大学大学院健康
科学研究科家族看護学領域修了。2017年に家
族支援専門看護師認定。現在は教育委員会・
臨床倫理委員会に所属し、組織横断的に家族
支援や臨床倫理・看護倫理・家族支援のコン
サルテーション活動を行っている。

CONTENTS

PART1 「患者さんの家族」と家族看護について知ろう p.47

- 自身の患者さんと家族のとらえ方に、疑問をもとう p.47
- 家族看護の考え方と家族のとらえ方は？ p.47
- ACPに必要な家族看護の視点 p.48
- 患者さんを含む家族を理解するためのポイント p.48
- 日ごろのかかわりのなかで行う家族支援について p.50

PART2 実際に合う“困った場面”には、どう対処する？ P.51

- 事例1：患者さんと家族の意向がバラバラなとき p.51
- 事例2：患者さんの意向がわからず、
医療的な判断を家族が拒否するとき p.54

最後に p.57